



フッ素樹脂

ドームの屋根からロケットの部品まで さまざまなフッ素樹脂製品を作っています。



中興化成工業株式会社

本社 / 港区赤坂2-11-7 ATT新館10階 TEL.03-6230-4414(代表) <https://www.chukoh.co.jp/>
創立 / 1963年(昭和38年)3月 従業員数 / 516名(連結) (2022年4月現在)

私たちの仕事

私たちは「フッ素樹脂」というプラスチックを原料にして、加工したり、他の材料にコーティングする技術を得意としている会社です。屋根の材料、工場でする製品や部品を運ぶベルト、粘着テープ、チューブ、ロケットの部品などを製造し、日本だけでなく海外でも使われています。みなさんも知っている東京ドームの天井や、港区にあるJR高輪ゲートウェイ駅のホーム屋根の「白い膜」は私たちの製品なんです。このフッ素樹脂を使った技術で、世の中にさまざまな製品が生み出すお手伝いをしています。



■ 本社 ■ F1松浦工場 ■ 宇都宮工場

フッ素樹脂ってなに？



「フッ素樹脂」は、プラスチックの一種です。ビニール袋やペットボトルもプラスチックですが、私たちが作っているのはそれとは別の「高機能性プラスチック」というもの。たくさんの特徴があり、ふつうのプラスチックでは作れない製品を作ることができます。

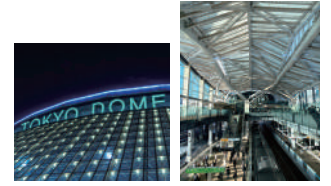
- -180℃から260℃まで幅広い温度で使える
- 電気を通しにくい
- 薬品に強い
- すべりやすい
- どんなものにもくっつきにくい
- 紫外線に強い



▲ 粉・粒・液体のフッ素樹脂を使ってさまざまな製品を作っています。

こんなものに使われています！

屋根の材料 ガラス繊維にフッ素樹脂をぬった膜状の屋根。厚さは約0.8ミリで軽いのに、コンクリートと同じ強さがあります。日本では主に当社だけが製造しています。



▲ 東京ドームの屋根(内側) ▲ 高輪ゲートウェイ駅の屋根

基板 ガラス繊維にフッ素樹脂をぬってシートにしたものを、何枚も重ねて基板を作ります。電気を通す銅箔をつけて完成です。



▲ 高速道路のETCシステムにも使用



ここに注目!!

フッ素樹脂のすごさを見てみよう!

ロケットの部品に使われています

日本初の純国産ロケットH-2やH-2Aロケットのエンジン部分に私たちの製品が使われています。1秒間に燃やす燃料は、なんとドラム缶3.5本分。製品は燃料を送る場所で使われ、発射するための手助けをしています。



▲ フッ素樹脂が使われているベアリング。第1エンジンで使用されています。

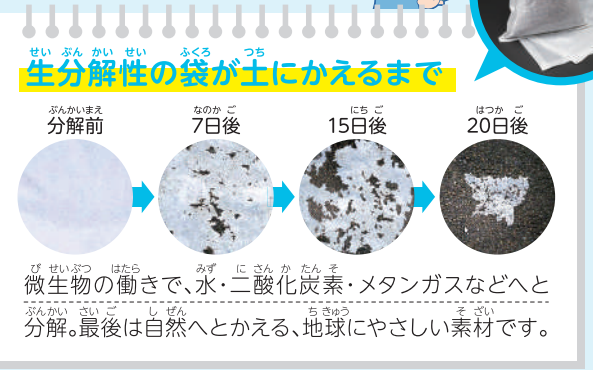
お菓子づくりに欠かせません

お菓子やパンづくりに欠かせないフッキング用のシート。焼き上がったときに鉄板にくっつかず、スルッと取れるすぐれものです。フッ素樹脂の「くっつかない」という特徴をいかし、何度でも使えるため、プロのお店でも使われています。



環境問題でどんな取り組みを行っているの？

ビニール袋やペットボトルのポイ捨てで、海の中にプラスチックのゴミがあふれている問題を知っていますか？その解決策の一つが「生分解性プラスチック」です。私たちが「生分解性プラスチック」を使った製品を開発しはじめたのは、なんと30年以上も前のこと。今では多くの都道府県向けのゴミ袋や食器などをつくり、環境問題に取り組んでいます。



働く人の声



営業第2本部
アーキ・エクスポートプロダクト部
原 暢子 さん

海外のお客さまに製品の紹介・販売をする仕事をしています。お客さまと工場の両方の要望・状況を確認して、製品の提案や納期の調整をするように心がけています。お客さまの困っていることを当社の製品で解決できたときがうれしいです。



宇都宮製造部
生産1課
橋本 真里 さん

私の仕事は、医療機器に使われるチューブを製造することです。職場は女性のメンバーが多く、とても華やかで楽しい職場です。細かい作業が多く大変ですが、私の作った製品が「誰かの健康を支えている」と考えると、やりがいを感じます。